◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.337　（2022年度No.15）**　 　2022/4/22

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆

**まもなく　田植え**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係)**事業経過等** | **2** |
| **2**[**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **2-5** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **5-6** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **7-16** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **16-18** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **18-24** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

4月15日　　かわら版336号・かわら版ニュース＆トピックス227号を発行。

4月15日　　第1回運営委員会・常任理事会開催。

4月19日　　かわら版ニュース＆トピックス228号を発行。

4月22日　　かわら版337号・かわら版ニュース＆トピックス229号を発行。

**■東京都ふぐの取扱い規制条例の改正の概要について　2022/4/7**

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/hugu/kaisei.html>

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**★***Link***2022年3月31日　国立国際医療研究センター　COVIREGI-JPダッシュボード**

COVID-19 レジストリ研究　“ダッシュボード” 本データの注意点  
<https://www.ncgm.go.jp/pressrelease/2021/20220331.html>  
ダッシュボード  
<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNGJlMmZmNDctMDk0NC00MjkwLTk0NDgtYmM1MGFkYjNhN2RiIiwidCI6IjZmOGFmOWFkLTU2NDctNGQ2My1hYjIxLWRiODk0NTM3MzJmNyJ9>  
NCGM COVID-19 治療フローチャート（中等症以上成人)  
<https://www.ncgm.go.jp/covid19/pdf/20220322NCGM_COVID-19_Flow_chart_v5.pdf>

**■***NEW***「第２回　清涼飲料水に係るＨＡＣＣＰ等に基づく衛生管理に関する評価検討会」を開催します（開催案内）　2022/4/18**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25132.html>

**■第78回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和４年度第１回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）　資料　2022/4/13**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000208910_00040.html>

**■第78回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和4年度第1回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）（ペーパーレス、Web会議）の開催について　2021/4/11**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25040.html>

**■令和4年3月28日薬事・食品衛生審議会 食品衛生分科会 新開発食品調査部会　議事要旨　2022/4/8**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25104.html>

**■令和4年3月28日薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会新開発食品調査部会（オンライン会議）資料　2022/4/8**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24708.html>

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１２８４報）　2022/4/21**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25068.html>

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１２８３報）　2022/4/13**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24884.html>

**１　自治体の検査結果**

**札幌市、小樽市、岩手県、宮城県、群馬県、東京都、横浜市、静岡県、名古屋市、滋賀県**

**※ 基準値超過　１１件**

**No.555 　群馬県産 　　イノシシ　　　 （Cs：270 Bq/kg）　中之条町**

**No.557　 群馬県産 　　ツキノワグマ　 　（Cs：110 Bq/kg）　中之条町**

**No.558 　群馬県産 　　ツキノワグマ 　　（Cs：180 Bq/kg）　中之条町**

**No.559 　群馬県産 　　ツキノワグマ 　　（Cs：150 Bq/kg）　中之条町**

**No.560 　群馬県産 　　ツキノワグマ 　　（Cs：320 Bq/kg）　中之条町**

**No.561 　群馬県産 　　ツキノワグマ 　　（Cs：130 Bq/kg）　中之条町**

**No.581 　群馬県産 　　ツキノワグマ 　　（Cs：140 Bq/kg）　東吾妻町**

**No.585 　群馬県産 　　ツキノワグマ 　　（Cs：120 Bq/kg）　昭和村**

**No.587 　群馬県産 　　ツキノワグマ 　　（Cs：140 Bq/kg）　昭和村**

**No.598 　群馬県産 　　ツキノワグマ 　　（Cs：420 Bq/kg）　みどり市**

**No.599 　群馬県産 　　ツキノワグマ 　　（Cs：210 Bq/kg）　みどり市**

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１２８２報）　2022/4/8**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24706.html>

**１　自治体の検査結果**

**小樽市、岩手県、宮城県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、藤沢市、高知市**

**※ 基準値超過　１件**

**No. 45　　岩手県産　　ヤマドリ肉 　　（Cs：130 Bq/kg） 　陸前高田市**

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.8/ 2022（2022.04.13）　2022/4/13**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202208m.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202208m.pdf%20)

**目次**

**【米国食品医薬品局（US FDA）】**

1. 米国食品医薬品局（US FDA）が乳幼児用調製粉乳に関連して発生しているクロノバクター（Cronobacter sakazakii）感染に関する苦情を調査（2022 年 3 月 31 日付更新情

報）

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. カナダのブリティッシュ・コロンビア州産の生牡蠣に関連して複数州にわたり発生しているノロウイルス感染アウトブレイク（2022 年 4 月 6 日付更新情報）

**【カナダ公衆衛生局（PHAC）】**

1. 公衆衛生通知：ブリティッシュ・コロンビア州産の生牡蠣に関連して複数州にわたり発生しているノロウイルス感染と胃腸疾患のアウトブレイク（2022 年 4 月 8 日付更新情報、3 月 31 日付初発情報）

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food　and Feed）

**【英国食品基準庁（UK FSA）】**

1. 燻製魚に関連して発生しているリステリア（Listeria monocytogenes）感染アウトブレイク

2. サルモネラ感染アウトブレイクに関連している Kinder ブランド製品（チョコレート製品）を喫食しないよう英国食品基準庁（UK FSA）およびスコットランド食品基準庁（FSS）が予防措置として消費者に注意喚起

3. 食品に関する消費者調査「Food and You 2」の最新の結果を発表：消費者の食品供給チェーンへの信頼度は依然として高い

**【スコットランド食品基準庁（FSS）】**

1. 狩猟動物肉に関するガイドと HACCP（危害分析重要管理点方式）

**【アイルランド保健サーベイランスセンター（HPSC Ireland）】**

1. サルモネラ（Salmonella Typhimurium）感染アウトブレイクに関連して Ferrero 社製の Kinder ブランドのチョコレート製品を回収

**【アイルランド食品安全局（FSAI）】**

1. Ferrero 社が Kinder ブランドのチョコレート製品の回収対象を拡大（2022 年 4 月 6 　日付更新情報）

**【ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）】**

1. カンピロバクター感染予防のためのリーフレットを発行

**【ProMED-mail】**

**食品安全情報（微生物）No.8 / 2022（2022.04.13）**

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（13）（12）（11）（10）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.8/ 2022（2022.04.13）　2022/4/13**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202208c.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202208c.pdf%20)

**＜注目記事＞**

**【FSA】 FSA と FSS は食品供給の混乱を避けるための食品原料の代用について消費者へ助言**

英国食品基準庁（FSA）とスコットランド食品基準庁（FSS）は、ヒマワリ油を含むと表示された食品の一部において、代わりに精製菜種油が含まれている可能性があることを消費者に通知した。英国のヒマワリ油の大半がウクライナ産のため、国内の食品事業者から、ウクライナ紛争の影響でヒマワリ油の供給が数週間でなくなる可能性があるとの報告を受けている。この状況を受け、FSA と FSS は、ヒマワリ油の精製菜種油への代替に関する迅速リスク評価を発表した

**＊ポイント：** FSA/FSS と同じく、原料の調達が難しくなったことによる食品の組成や製造工程の変更に関連した記事がアイルランド食品安全局（FSAI）やフィンランド食品局でも公表されています。緊急措置として、代替原料を使用した製品については暫定的にラベル表示の規制緩和を行いつつ、代替原料を使うことによる最大のリスク因子として、アレルゲンや不耐症の原因となる成分の含有については必ず表示するよう事業者に注意を呼びかけています。

**【BfR】 ワイルドガーリック：「ドッペルゲンガー」は中毒をおこすことがある**

ラムソンとしても知られるネギ属のワイルドガーリックは、春になると小さな球根から緑色の披針形の双葉を出し、それが料理に使われる。ドイツ連邦リスクアセスメント研究所の Andreas Hensel 長官は「スズランやイヌサフランなどの有毒な『ドッペルゲンガー（見た目がそっくりなもの）』がワイルドガーリックとよく間違われる」として注意を呼び掛ける。BfR の知見によると、それらの誤認により毎シーズン中毒が発生し、場合によっては致死的となる。ドイツのほか、オーストリア、スイス、クロアチアなどでも、特に4 月と 5 月に頻発している。

**＊ポイント：** 春になると食用にできる植物と有毒植物の誤認による食中毒の発生が問題になるのは、万国共通のようです。イヌサフランはネギ属の野生植物と間違えやすく、中毒症状が重篤化することも多いので特に注意が必要です。日本ではギョウジャニンニクと間違えることが多いので、採る時には 1 本ずつ確認するようにしましょう。そして、食べられると確実に判断できない植物は、採らない、食べないこと、直売所などで売らないこと、そして知人や親戚にもあげないようにしましょう。

**【MFDS】 生活中の「有害物質統合リスク評価」の結果発表**

韓国の食品医薬品安全処（MFDS）、食品医薬品安全評価院は、日常生活で人体に影響を及ぼす可能性があるパーフルオロ化合物やホルムアルデヒドなど合計 13 種の化学物質に対する「統合リスク評価」を実施した。これは、食品だけでなく、化粧品や生活用品などの多様な製品と環境も含めた、実生活のあらゆる経路による暴露量を総合的に評価したものである。その結果、国民の体内総暴露量は有害影響の懸念がないレベルであることを確認した

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第856回）の開催について　2022/4/21**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和4年4月26日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３．議事

　（１）令和４年度食品健康影響評価依頼予定物質について（食品中の暫定基準を設定した農薬等）（厚生労働省からの報告）

（２）令和４年度食品健康影響評価依頼予定物質について（飼料中の暫定基準を設定した農薬）（農林水産省からの報告）

（３）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

　　　・農薬 ３品目

　　　　イソフェタミド

　　　　クロルフルアズロン

　　　　フルトラニル

　　　　（厚生労働省からの説明）

　　　・農薬及び動物用医薬品 １品目

　　　　シペルメトリン

　　　　（厚生労働省からの説明）

（４）遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について

　　　・「線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

　　　・「JPBL012株を利用して生産されたプロテアーゼ」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（５）評価技術企画ワーキンググループにおける審議結果について

　　　・「食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針の一部改正（案）」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（６）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見について

　　　・遺伝子組換え食品等「JPAN004株を利用して生産されたα-アミラーゼ」に係る食品健康影響評価について

　　　・遺伝子組換え食品等「JPBL007株を利用して生産されたα-アミラーゼ」に係る食品健康影響評価について

（７）食品安全委員会の運営について（令和４年１月から３月まで）

（８）その他

４．動画視聴について：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、4月25日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名、所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、4月26日（火）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

　<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■***NEW***食品により媒介される微生物等に関する食品健康影響評価指針に関する審議結果（案）についての意見・情報の募集について　2022/4/20**

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_biseibutu-virus_shishin2022_040420.html>

　令和４年４月２０日から令和４年５月１９日までの間、意見・情報の募集を行います

**■***NEW***加熱と調理「トンカツ編」　2022/4/15**

<https://www.youtube.com/watch?v=J1Yl0n-Z08E>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和4年3月12日から令和4年3月25日）2022/4/6**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2022&from_month=3&from_day=12&to=struct&to_year=2022&to_month=3&to_day=25&max=100>

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\shokkakyo\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/4/21**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220421_3.html>

**農林水産省は、4月9日（土曜日）にフランスのオート・ヴィエンヌ県からの、4月13日（水曜日）にサルト県からの、4月21日（木曜日）にアヴェロン県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**フランスのオート・ヴィエンヌ県、サルト県及びアヴェロン県の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、フランス家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**2.対応**

**フランス家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年4月9日（土曜日）にオート・ヴィエンヌ県からの、令和4年4月13日（水曜日）にサルト県からの、令和4年4月21日（木曜日）にアヴェロン県からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。**

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■***NEW***ブルガリアからの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/4/21**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220421_2.html>

　　農林水産省は、4月21日（木曜日）にブルガリアのブルガス州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

ブルガリアのブルガス州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、ブルガリア家畜衛生当局から国際獣疫事務局（OIE）に通報がありました。

2.対応

OIEへの通報を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年4月21日（木曜日）にブルガス州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、2国間で輸入条件が設定されていないため、従前より輸入できません。

　これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■***NEW***秋田県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内22例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/4/21**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220421.html>

　　秋田県大仙市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内22例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）秋田県大仙市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内22例目、4月19日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***北海道で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内20例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/4/20**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220420_2.html>

　　北海道白老町（しらおいちょう）で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内20例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）北海道白老町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内20例目、4月16日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***北海道で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内21例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/4/20**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220420_1.html>

　　北海道網走市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内21例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）北海道網走市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内21例目、4月16日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/4/20**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220420.html>

**農林水産省は、4月20日（水曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）ユタ州及びカンザス州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**米国ユタ州及びカンザス州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**2.対応**

**米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年4月20日（水曜日）にユタ州及びカンザス州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。**

**【生きた家きん（家きんの初生ひな及び種卵）】**

**ユタ州全域**

**（参考）カンザス州からの生きた家きんは令和4年3月15日以降、一時輸入停止措置をしています。**

**【家きん肉、家きん卵等（※2）】**

**ユタ州ユタ郡及びカンザス州マクファーソン郡（発生郡）**

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■***NEW***青森県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内19例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/4/20**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220420_3.html>

　　青森県横浜町で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内19例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）青森県横浜町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内19例目、4月15日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***カナダからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/4/19**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220419_5.html>

　　農林水産省は、4月19日（火曜日）にカナダのサスカチュワン州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

カナダのサスカチュワン州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、カナダ家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

カナダ家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年4月19日（火曜日）にサスカチュワン州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■***NEW***米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/4/19**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220419_4.html>

農林水産省は、4月18日（月曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）モンタナ州、ノースダコタ州及びウィスコンシン州からの、4月19日（火曜日）にアイダホ州及びペンシルバニア州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

米国モンタナ州、ノースダコタ州、ウィスコンシン州、アイダホ州及びペンシルバニア州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年4月18日（月曜日）にモンタナ州、ノースダコタ州及びウィスコンシン州からの、令和4年4月19日（火曜日）にアイダホ州及びペンシルバニア州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。

【生きた家きん（家きんの初生ひな及び種卵）】

アイダホ州全域

（参考）生きた家きんはモンタナ州は令和4年4月11日以降、ノースダコタ州は令和4年4月1日以降、ウィスコンシン州は令和4年3月16日以降、ペンシルベニア州は令和4年1月13日以降、一時輸入停止措置をしています。

【家きん肉、家きん卵等（※2）】

モンタナ州ツール郡、ノースダコタ州カス郡、スタッツマン郡、シェリダン郡及びバーンズ郡ウィスコンシン州バロン郡、アイダホ州カリブー郡及びグッディング郡並びにペンシルバニア州ランカスター郡（発生郡）

**■***NEW***宮城県石巻市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内17例目）に係る移動制限の解除について　2022/4/19**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220419_3.html>

　　宮城県は、同県石巻市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内17例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和4年4月19日（火曜日）午前0時（4月18日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）宮城県は、同県石巻市の養鶏場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内17例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）宮城県は、同県石巻市で確認された高病原性鳥インフルエンザに関し、令和4年4月8日（金曜日）午前0時（4月7日（木曜日）24時）に発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今般、宮城県は、国内17例目の移動制限区域について、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年3月28日の翌日から起算して21日が経過する令和4年4月19日（火曜日）午前0時（4月18日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***秋田県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内22例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/4/19**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220419.html>

　　本日（4月19日（火曜日））、秋田県大仙市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内22例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定します。

1.農場の概要

所在地：秋田県大仙市

飼養状況：約400羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（4月18日（月曜日））、秋田県は、同県大仙市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明しました。

（3）本日（4月19日（火曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内21例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/4/16**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220416_6.html>

　　本日（4月16日（土曜日））、北海道網走市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内21例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定します。

1.農場の概要

所在地：北海道網走市

飼養状況：約500羽（だちょう（エミュー））、約100羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）本日（4月16日（土曜日））未明、北海道は、網走市の農場から、だちょう（エミュー）の死亡羽数が増加しているとの通報を受けて、農場への立入検査を実施し、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（2）本日（4月16日（土曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内20例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の開催について　2022/4/16**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220416.html>

　本日、北海道白老町（しらおいちょう）の採卵鶏農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内20例目）されました。

これを受け、農林水産省は、本日10時40分から、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を開催し、今後の対応方針について決定します。

1.農場の概要

所在地：北海道白老町

飼養状況：採卵鶏（約52万羽）

2.経緯

（1）昨日（4月15日（金曜日））、北海道は、白老町の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明しました。

（3）本日（4月16日（土曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***カナダからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/4/15**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220415_5.html>

農林水産省は、4月15日（金曜日）にカナダのブリティッシュコロンビア州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

カナダのブリティッシュコロンビア州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、カナダ家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

カナダ家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため令和4年4月15日（金曜日）にブリティッシュコロンビア州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

**■***NEW***米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/4/15**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220415_4.html>

農林水産省は、4月7日（木曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）ノースダコタ州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

米国ノースダコタ州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年4月7日（木曜日）にノースダコタ州からの家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。

（参考）ノースダコタ州からの生きた家きんは令和4年4月1日以降、一時輸入停止措置をしています。

**■茨城県における豚熱の確認（国内79例目）及び「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/4/15**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220415.html>

　　本日、茨城県城里町の養豚農場において家畜伝染病である豚熱の患畜が確認されたことを受け農林水産省は本日、「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の防疫方針について決定します。

現場及び周辺地域にも本病のウイルスが存在する可能性があり、人や車両を介して本病のまん延を引き起こすおそれがあります。現場及び周辺地域での取材は、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1.農場の概要

所在地：茨城県城里町

飼養状況：約2,900頭

2.経緯

（1）昨日（4月14日（木曜日））、茨城県は、同県城里町の農場から、異状がみられる子豚がいる旨の通報を受け、病性鑑定を実施しました。

（2）茨城県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門（注）で精密検査を実施したところ、本日（4月15日（金曜日））、豚熱の患畜であることが判明しました

**■青森県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内19例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/4/15**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220415_3.html>

　　本日（4月15日（金曜日））、青森県横浜町の肉用鶏農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内19例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定します。

1.農場の概要

所在地：青森県横浜町

飼養状況：肉用鶏（約11万羽）

2.経緯

（1）昨日（4月14日（木曜日））、青森県は、同県横浜町の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明しました。

（3）本日（4月15日（金曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■茨城県における豚熱の患畜の確認（国内78例目）及び「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」の開催について 2022/4/13**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220413.html>

　　本日、茨城県石岡市の養豚農場において家畜伝染病である豚熱の患畜が確認されたことを受け農林水産省は本日9時30分から、「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」を開催し、今後の防疫方針について議論します。

現場及び周辺地域にも本病のウイルスが存在する可能性があり、人や車両を介して本病のまん延を引き起こすおそれがあります。現場及び周辺地域での取材は、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」は非公開です。ただし、冒頭のみカメラ撮影が可能です。

1.発生農場の概要

所在地：茨城県石岡市

飼養状況：約1,000頭

2.経緯

（1）茨城県は、同県石岡市の農場から、死亡頭数が増加している旨の通報を受け、昨日（4月12日（火曜日））、当該農場に立ち入り、病性鑑定を実施しました。

（2）茨城県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門（注）で精密検査を実施したところ、本日（4月13日（水曜日））、豚熱の患畜であることが判明しました

**■英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/4/12**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220412_7.html>

　　農林水産省は、4月8日（金曜日）に英国のデボン州及びケンブリッジシャー州から、4月11日（月曜日）にサマセット州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

英国のデボン州、ケンブリッジシャー州及びサマセット州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、英国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

英国家畜衛生当局からの情報提供を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年4月8日（金曜日）にデボン州及びケンブリッジシャー州から、令和4年4月11日（月曜日）にサマセット州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和2年11月以降、コンパートメント施設以外の施設からは引き続き一時輸入停止措置をしています。

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■青森県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内18例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/4/12**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220412.html>

　　青森県横浜町で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内18例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）青森県横浜町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内18例目、4月8日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■森林の役割などを学べる小学生向けコンテンツ「うんこドリル 森とくらし」を作りました　2022/4/12**

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kouhou/220412.html>

1．作成の経緯

　　林野庁は、森林の役割、林業や木材利用の意義などについて、これまで情報誌「林野」の発行、ウェブサイトへの情報の掲載、ソーシャルメディア（フェイスブック、ツイッター、ユーチューブチャンネルBUZZMAFF）での投稿など、国民各層に対する広報活動を展開しています。この度、更に子供向けのコンテンツを充実させるため、「うんこドリル」と連携した小冊子「うんこドリル 森とくらし」を作成しました。

※うんこドリルとは

　　 シリーズ950万部を突破した「うんこドリル」は、株式会社文響社が刊行する子供向け学習ドリルの新定番。

　　 「うんこ」をキーワードに学びのハードルを下げ、楽しみながら学べる学習参考書。

　　 2017年の初版「うんこ漢字ドリル」を発売後、算数や英語、プログラミングなど教科の領域を広げ、未就学児向けのドリルも刊行。

　　2019年にはウェブ上の教育プラットフォーム「うんこ学園」を公開。

　　2020年より「子どもたちの生きるための学び」を軸に法人や自治体・官公庁とのタイアップによる学問の領域を超えた多様なテーマの啓発を行う。啓発のツールとして冊子やウェブアプリ、動画などを展開している。

2．林野庁×うんこドリル 「うんこドリル 森とくらし」の内容

　　うんこ先生が森の中を歩きながら、うんこいぬ、うんこねこのキャラクターに5つの問題を出題し、その答えを解説していくストーリー。問題には、森林の公益的機能、世界と我が国の森林の現状、林業や木材利用の意義、森林の循環利用の重要性が扱われており、小学生を対象として、森林とくらしの関係を学ぶことができる内容となっています。

　　 実際の「うんこドリル 森とくらし」は以下のウェブサイトから、ダウンロードするなどしてご覧いただけます。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/unkodrill/moritokurashi.html>

　3．本冊子の活用をご検討の皆様へ

本冊子の活用をご希望の方には、発行元の文響社が1000部から有償にて増刷します。本冊子は非売品です。増刷対応は子どもたちの啓発のために無償配布いただける方に限ります。

　　増刷に関する問い合わせは、以下のお問い合わせフォームよりご連絡をお願い申し上げます

　　 お問い合わせフォーム（文響社）

[https://form.run/@biz-unko-1649233837](%20https:/form.run/@biz-unko-1649233837)

お問合せ先

林政部林政課　担当者：服部、石塚、川合

　　 代表：03-3502-8111（内線6012）

　　 ダイヤルイン：03-3502-8026

**■青森県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内18例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/4/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220408_4.html>

　　本日（4月8日（金曜日））、青森県横浜町の肉用鶏農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内18例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定します。

1.農場の概要

所在地：青森県横浜町

飼養状況：肉用鶏（約17万羽）

2.経緯

（1）昨日（4月7日（木曜日））、青森県は、同県横浜町の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施しました。

（2）本日（4月8日（金曜日））、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明しました。

（3）同日、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■宮城県石巻市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内17例目）に係る搬出制限の解除について　2022/4/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220408.html>

　　宮城県は、同県石巻市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内17例目）に関し、発生農場の半径3kmから10km以内の区域に設定している搬出制限について、令和4年4月8日（金曜日）午前0時（4月7日（木曜日）24時）に解除しました。

今後、宮城県は、国内17例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、令和4年4月19日（火曜日）午前0時(4月18日（月曜日）24時)をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

1.今後の予定

（1）宮城県は、同県石巻市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内17例目）に関し、令和4年4月8日（金曜日）午前0時（4月7日（木曜日）24時）、発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（2）今後、宮城県は、国内17例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、発生農場の防疫措置が完了した令和4年3月28日の翌日から起算して21日が経過する、令和4年4月19日（火曜日）午前0時(4月18日（月曜日）24時)をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

3.参考

「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の開催について

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220325.html>

宮城県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内17例目）について

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220325_3.html>

宮城県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内17例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220330.html>

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**

<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***大幸薬品株式会社に対する景品表示法に基づく措置命令について　2022/4/15**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/028385/>

　　消費者庁は、本日、大幸薬品株式会社に対し、同社が供給する「クレベリン 置き型 60g」と称する商品及び「クレベリン 置き型 150g」と称する商品に係る表示について、それぞれ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第1号(優良誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

公表資料

大幸薬品株式会社に対する景品表示法に基づく措置命令について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220415_1.pdf>

**■簡単な作業をするだけで「誰でも1日当たり数万円を稼ぐことができる」などの勧誘により「副業」の「マニュアル」を消費者に購入させた事業者に関する注意喚起　2022/4/13**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/028350/>

　簡単な作業をするだけで「誰でも1日当たり数万円を稼ぐことができる」などの勧誘により「副業」の「マニュアル」を消費者に購入させた事業者に関する注意喚起を行いました。

詳細

令和元年から令和3年の夏までにかけて、簡単な作業をするだけで「誰でも1日当たり数万円を稼ぐことができる」などというLINEのメッセージによる勧誘を受け「副業」の「マニュアル」を購入してしまったが、実際の「マニュアル」に記載された「副業」の内容は告げられたものとは異なっていたなどという相談が、各地の消費生活センター等に数多く寄せられています。

消費者庁が調査を行ったところ、株式会社サポート(以下「サポート」といいます。)及び個人事業主5名(以下「本件6事業者」といいます。)が、消費者の利益を不当に害するおそれのある行為(不実告知及び断定的判断の提供)を行っていたことを確認したため、消費者安全法(平成21年法律第50号)第38条第1項の規定に基づき、消費者被害の発生又は拡大の防止に資する情報を公表し、消費者の皆様に注意を呼びかけます。

また、この情報を都道府県及び市町村に提供し、周知します。

公表資料

簡単な作業をするだけで「誰でも1日当たり数万円を稼ぐことができる」などの勧誘により「副業」の「マニュアル」を消費者に購入させた事業者に関する注意喚起

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_policy_cms103_220413_01.pdf>

**■第2回 景品表示法検討会(2022年4月14日)資料　2022/4/13**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/meeting_materials/review_meeting_004/028258.html>

**■第1回 景品表示法検討会(2022年3月16日)議事録　2022/4/13**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/meeting_materials/review_meeting_004/027827.html>

**■動画「よりよい買物の仕方を考えよう～エシカル消費ってなあに?～」を活用するためのデジタル教材を掲載しました。　2022/4/13**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/material/>

**■令和3年度内閣府・地方創生SDGs官民連携プラットフォーム主催**

**「地方創生SDGs国際フォーラム2022」　2022/4/6**

**地方創生SDGs国際フォーラムの動画を掲載しました。**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_partnerships/consumer_oriented_management/public_awareness/>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★ゼストクック「巻きもの、丼もの、握りずしのネタ」 - 返金／回収　魚肉に対する食用赤色102号の使用、消費期限超過　2022/4/21**

**★巴裡「焼き菓子：物語大、物語中、物語小」 - 返金／回収　アレルゲン「くるみ、大豆」の表示欠落　2022/4/21**

**★山万加島屋商店（ニチエー全店）「ニチエー 手詰め十二割糀味噌」 - 返金／回収　製造者の住所の記載漏れ　2022/4/21**

**★イオン「トップバリュ 国産鶏肉使用サラダチキンスライス（むね肉・ハーブ）」 - 返金／回収　「国産鶏肉使用サラダチキンスライス（むね肉・プレーン）」の商品の一部において、誤って「国産鶏肉使用サラダチキンスライス（むね肉・ハーブ）」の包材を使用していることが判明　2022/4/21**

**★巴裡「フィナンシェ」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2022/4/20**

**★ケーポッシュ（京王百貨店サテライト橋本店）「焼き菓子：ラズハート」 - 返金／回収　5ミリ程度のプラスチック片が混入　2022/4/20**

**★フジフーズ「調理冷凍食品：特製牛皿」 - 返金／回収　賞味期限の表示欠落　2022/4/19**

**★カサマヤ物産「黒糖ゆ～饅頭」 - 返金／回収　外箱の賞味期限の誤表示（誤：23.4.23、正：22.4.23）」（内袋には正しい賞味期限を記載）　2022/4/19**

**★九州コーケン「CBD DROPS KUU」 - 返金／回収　製造許可範囲外で生産　2022/4/19**

**★まいばすけっと（保土ヶ谷駅東口店）「下ゆで野菜(じゃがいも)(インカのめざめ)(ブイヨン入り)」 - 返金／回収　商品の保存方法と異なる温度で陳列販売　2022/4/19**

**★キミセ醤油「五穀蔵だし」 - 返金／回収　異物混入の恐れ（金属粉）　2022/4/18**

**★友口「からしマヨネーズ風味のジャイアントコーン、香ばしカシュ」 - 交換／回収　アレルゲン「カシューナッツ」「卵・乳成分・鶏肉」の表示欠落　2022/4/18**

**★九州コーケン「ataracia CBD オイル パウチ」 - 返金／回収　製造許可範囲外で生産　2022/4/15**

**★九州コーケン「PICASSO Tincture 10g」 - 返金／回収　製造許可範囲外で生産　2022/4/15**

**★九州コーケン「H THINK CBD TINCTURE」 - 返金／回収　製造許可範囲外で生産　2022/4/15**

**★タイガー魔法瓶「電気湯沸器、電気炊飯器」 - 交換／回収　電源コードの差込みプラグの材質に相違が生じ、技術基準不適合品が混入されていることが判明　2022/4/15**

**★オークワ「鶏ザンギ用（コロコロチキン）」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦、大豆、鶏肉」の表示欠落、原材料表示、添加物表示、栄養成分表示の欠落　2022/4/13**

**★資生堂パーラー「金平糖ミックス（子猫）」 - 返金／回収　着色料の表示欠落　2022/4/13**

**★北海道エルム豊上「角島へ。」 - 返金／回収　アレルゲン「落花生」の表示欠落　2022/4/13**

**★ファミリーマート「蓮根ごぼうサラダ」 - 返金／回収　商品裏面の原材料表示不備の商品があるため　2022/4/13**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒★**

**■稚内の１２小中学校で集団食中毒か　１３０人腹痛など　２０日から給食停止に**

**4/20(水) 16:13配信　HTB北海道ニュース　北海道稚内市**

**調査中**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8d3ac73219d0a45f7f0afedf153b86cdb8e975df>

**学校給食で"集団食中毒"か 12校の生徒ら約120人腹痛や嘔吐など 「因果関係不明」も調理中止し調査　4/20(水) 16:04配信　北海道ニュースUHB****北海道稚内市**

**調査中**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/bf75d73c6eff28444ec0ae12012facdbb94a3242>

**■飲食店営業施設等に対する不利益処分等　2022/4/19　新宿区**

**ウエルシュ菌**

<http://www.city.shinjuku.lg.jp/content/000321898.pdf>

　公表年月日　2022/4/19

　業種等　飲食店営業

　施設の名称　オーベルジーヌ

　主な適用条項　6条

　不利益処分等の原因となった食品等　カレー弁当　ウエルシュ菌不利益処分等を行った理由　食中毒（当該飲食店が提供した食品を原因とする）

　不利益処分等の内容　令和４年４月１９日から４月２２日までの４日間の営業停止命令施設取扱改善命令

　備考　令和４年４月１６日から４月１８日まで自主的に休業

**■食中毒の発生について　2022/4/18　広島県広島市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/houdou/houdou/277152.html>

　1　事件の概要

　　　4月12日（火）午前11時頃、市内の学校から、「寄宿舎で生活する複数名の生徒に体調不良者が発生しており、うち2名の便からカンピロバクターが検出された。」との報告が広島市保健所にあった。

　調査の結果、寄宿舎の食堂で調理された食事を喫食した21名（生徒17名、教職員4名）のうち生徒9名が、4月7日（木）から4月10日（日）にかけて発熱、腹痛、下痢等の症状を呈していた。

　　　患者は全員、寄宿舎の食堂で調理された食事を喫食しており、患者6人の便からカンピロバクターが検出されたこと及び患者を診察した医師から食中毒患者の届出があったことから、広島市保健所はこの寄宿舎の食堂で調理・提供された食事を原因とする集団食中毒と判断した。

　　　なお、寄宿舎の食堂を運営する事業者は、寄宿舎の食堂運営に際し必要になる、食品衛生法に基づく営業許可を受けていなかったことから、事案発生探知後直ちに当該寄宿舎の食堂を使用しないよう指示した。

2　患者の状況

1. 患者数　9名
2. 主症状　発熱、腹痛、下痢

3　原因施設

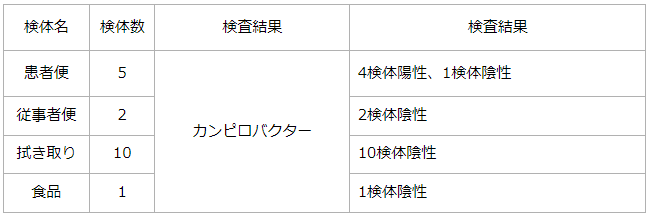
1. 施設名　広島朝鮮学園　学生寄宿舎　食堂
2. 許可の種類　許可未取得

4　原因食品　寄宿舎の食堂で調理・提供された食事（詳細は調査中）

5　病因物質　カンピロバクター

6　保健所の対応

1. 患者の発症状況及び喫食状況等の調査
2. 原因施設の立入調査・指導
3. 検体採取（検査機関：広島市衛生研究所）



**★ウイルスによる食中毒★**

**■**

**★寄生虫による食中毒★**

**■にぎりずしで食中毒、胃からアニサキス　ヤリイカやトロ…すし店で購入　福井県福井市**

**4/20(水) 7:58配信　福井新聞ＯＮＬＩＮＥ**

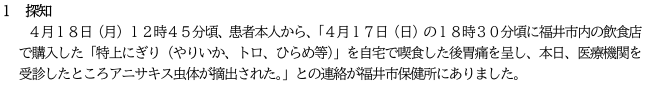
<https://news.yahoo.co.jp/articles/6127500d0b9e67ca6b633f78d8a838f04198ccb4>

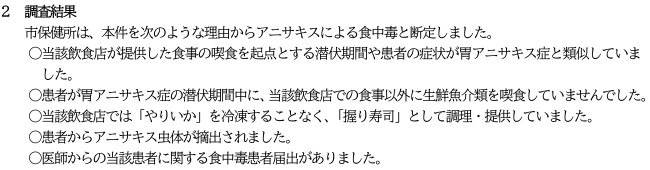
**アニサキスによる食中毒が発生しました　2022/4/19****福井県福井市**

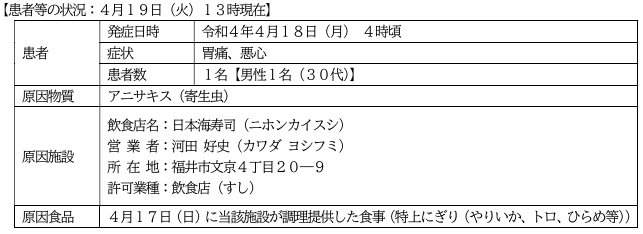
**アニサキス**

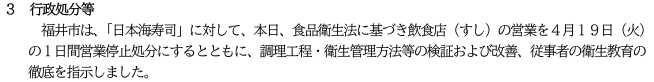
<https://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/eisei/syokuhin/p020749_d/fil/220419_syokutyudoku.pdf>

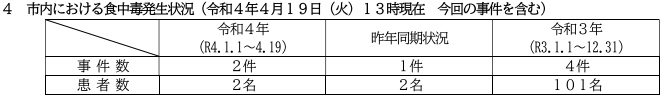












**■公表中の不利益処分等　2022/4/19　荒川区**

**アニサキス**

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a032/kenkouiryou/eisei/syokuhin/ihanshakouhyou.html>

　公表年月日　令和4年4月19日

施設の業種　魚介類販売業

施設の名称　ライフ　東日暮里店

主な適用条項

食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年法律第46号）第2条の規定による改正前の食品衛生法（昭和22年法律第233号。以下「法」という。）第6条第3号の規定に違反するので、法第55条を適用

※食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（令和元年政令第123号）附則第2条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた者であるから、当該営業者に対する不利益処分については、この法を適用する。

不利益処分等を行った理由 食中毒の発生

不利益処分等の内容

営業停止1日間（令和4年4月19日）（生鮮魚介類（冷凍品（零下20度で24時間以上の冷凍をしたものをいう。）を除く。）の生食用での加工、販売）

備考

原因食品　令和4年4月11日及び12日に当該施設で加工、販売された刺身

原因物質　アニサキス

令和4年4月13日に患者1名が発疹、腹痛、吐気、下痢を発症

**■アニサキス…スーパー「オリンピック」の刺し身で男性が食中毒に　アジやイワシ食べる　店に行政処分　4/15(金) 9:27配信　埼玉新聞　埼玉県さいたま市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7a2fdde320982dc555d453d19759129b781db830>

**■飲食店で食中毒　１日営業停止に　那覇市保健所が処分**

**2022年4月14日 05:00　沖縄タイムス プラス　沖縄県那覇市**

**アニサキス**

<https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/942469>

**■令和4年発生状況　2022/4/12　山形県酒田市**

**アニサキス**

<https://www.pref.yamagata.jp/020071/kurashi/shoku_anzen/syokuchuudoku/r4jokyo.html>

　発生年月日　2022/4/10

　患者所在地　酒田市

　摂食者数　2

　患者数　1

原因施設　不明

原因食品　ヒラメの刺身（推定）

病因物質　アニサキス

**★自然毒による食中毒★**

**■有毒野草バイケイソウで70代夫婦が食中毒、広島県が注意呼び掛け　2022/4/19**

**広島県廿日市　中国新聞デジタル**

**植物製自然毒　バイケイソウ**

<https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/157189>

**★化学物質による食中毒★**

**■**

**★細菌による感染症★**

**■**

**★ウイルスによる感染症★**

**■園児ら30人ノロウイルス感染　栃木県北の保育所**

**4/15 9:28　下野新聞「SOON」**

**ノロウイルス**

<https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/577470>

**★その他の感染症★**

**■子どもが原因不明の肝炎に 英では70例以上見つかり肝臓移植を必要とした例も。**

**4/21(木) 18:26配信　TBS NEWS DIG Powered by JNN**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7dc5ba71167a908e9e3a7607fb33585329c714c1>

**英で子供の急性肝炎相次ぐ　WHO報告、原因不明**

**2022年4月16日 23:07　日本経済新聞**

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCB1647N0W2A410C2000000/>

**★違反食品★**

**■**

**★その他関連ニュース★**

**■「コシアブラ」などの自生山菜に関する注意喚起　2022/4/21　山形県山形市**

<https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/jigyosya/nougyo/1006768/1006769/1004733.html>

　　これまで、厚生労働省や山形県の調査により、県内で採取され、県内及び県外で販売された「コシアブラ」から基準値（100ベクレル/kg）を超える放射性物質が検出される事案が発生しております。

これから「自生山菜」の発生時期を迎えるにあたり、次の事項に注意してください。

「自生山菜」は、生育環境の違いにより放射性物質の濃度にばらつきがあるため、食品衛生法第3条に基づき、出荷前の自主検査を徹底し、安全性を確認してから出荷いただきますようお願いします。

なお、出荷には、インターネット等による通信販売も含まれますので、ご留意ください。

採取については、森林所有者や地域住民が管理している森林、関係法令で採取が禁止されている場所等があるため、確認のうえ採取いただきますようお願いします。

なお、山形県では「コシアブラ」以外の自生山菜で基準値を超える事案がございません。

詳しくは山形県のホームページをご覧ください。

<https://www.pref.yamagata.jp/140023/sangyo/nourinsuisangyou/nogyo/nousambutsu/kinokosansai/tokusan-hoshasen.html>

**■薩摩川内の温泉施設からレジオネラ菌、基準値の35倍検出　1人感染　営業停止に**

**4/20(水) 9:00配信　南日本新聞**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/95961a50a032832e9bb49103f5e47dcf5df29c3c>

**■淀川下流部で漁獲された二枚貝（シジミ）から麻痺性貝毒が検出されました**

**漁獲の対象となる二枚貝の貝毒検査結果について（第１報）　2022/4/20　大阪府**

<https://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=44364>

提供日　2022年4月20日

提供時間　14時0分

内容

　４月１９日に淀川下流部で漁獲されたシジミについて貝毒検査を行い、本日検査結果が判明しました。

　シジミについては、国の定める規制値（４マウスユニット/ｇ）を超える麻痺性貝毒が検出されましたので、淀川下流部で漁獲されたシジミ及びその他二枚貝については、大阪府漁業協同組合連合会及び関係漁業協同組合に対し、出荷の自主規制を要請しました。併せて、出荷状況の確認、出荷済品の回収の指導等、対策を講じています。

　また、府民の皆様におかれましては、食中毒のおそれがありますので、絶対に淀川下流部に自生するシジミ等の二枚貝を採って食べないでください。

　引き続き、漁獲の対象となる二枚貝について定期的な監視を継続し、以降の検査結果及び検査の予定については、随時水産課ホームページ「漁獲の対象となる二枚貝の貝毒検査結果」に掲載します。

【検査結果】



【備考】

※１マウスユニット＝体重20g のマウスを15 分で死亡させる毒量

※人の致死量は、体重60kgの人で約3,000から20,000マウスユニット(MU)と言われています。

16MU/gの貝毒を含むシジミの場合は、むき身で約187gから1,250g（概ね187個から1,250個）が致死量に相当します。

しかし、それより少量の摂取でも症状が起こる危険性がありますので、注意が必要です。

【安全性の確認】

　検査結果が３週連続して規制値以下となった場合に、規制を解除します。

【検体採取日】

　シジミ　令和４年４月１９日

【結果判明日】

　シジミ　令和４年４月２０日

　<お問合せ先>

淀川下流部の二枚貝の検査及び規制

　環境農林水産部　水産課　企画・豊かな海づくり推進グループ

　直通電話番号06-6210-9612　ファクシミリ番号06-6210-9611

麻痺性貝毒による食中毒防止対策

　健康医療部　生活衛生室　食の安全推進課　食品安全グループ

　直通電話番号06-6944-6705　ファクシミリ番号06-6942-3910

関連ホームページ

漁獲の対象となる二枚貝の貝毒検査結果（水産課）

<https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/kai/index.html>

<https://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=44364>

貝毒に注意しましょう（食の安全推進課）

<https://www.pref.osaka.lg.jp/shokuhin/shokutyuudoku/kai.html>

**■【感染症情報】感染性胃腸炎が2週連続増加 - 手足口病も増加、プール熱は横ばい**

**4/19(火) 13:05配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8a2c40c738a4d8243fe045fbf81daa285baad486>